



こんにちは！ 日本共産党の

大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

2007年8月17日 65

〒319-1112

東海村村松2401-2

oona_toukai@yahoo.co.jp

電話・ファックス 029-284-0761

8月15日

戦後62回目の終戦記念日



8月15日 ジャスコ前で訴える私

哀悼の意を捧げます

日本軍国主義による侵略戦争と植民地支配の犠牲になられた内外すべての方々に、深い哀悼の意を捧げます。

戦後62回目の終戦記念日、暑い日でしたが私は、午後から街頭に出て、終戦記念日にちなんでの訴えをさせていただきました。次は、訴えの一部です。

「いま、『過去の戦争はアジア解放の正義の戦争だった』、『従軍慰安婦問題で強制連行は無かった』などの歴史に対する無反省な立場、侵略戦争と人道犯罪を正当化する立場に対し、国の内外できびしい批判が示されています。アメリカの下院本会議が7月30日、旧日本軍の『従軍慰安婦』問題を断罪し、日本政府が『公式かつ明確な謝罪』を行うことを求める決議を採択したことに象徴されますように、侵略戦争と植民地支配を肯定する『靖国史観』は、世界中で非難をあび孤立しています。

日本外交に今日求められているのは、『従軍慰安婦問題』について政府として公式に謝罪を行い、過去の過ちを正当化する逆流を克服することではないでしょうか。

日本共産党は、侵略戦争の反省の上に立つてつくられた憲法を守りぬき、憲法9条を生かして、国連のルールに則って世界とアジアの平和・友好に寄与するため力をつくします。

東海産廃焼却施設反対住民の会で

8月15日午前

村長に支援要請を行いました



役場庁議室で住民の会への支援を要請する住民の会

川根区内への産廃焼却施設設置に反対する住民の会は、15日午前、村長宛、住民の会への支援要請書を副村長に手渡しました。これには24名の会員が参加し、ダイオキシン放出の心配や道路が沈下する心配などそれぞれ訴えました。対応に出た副村長は、「行政としてどんな支援ができるのか、調査もし研究して、できる支援をしていきたい」と述べられました。

私は、支援要請行動に参加したあと、金砂郷に行き、JCO臨界事故で亡くなられた大内久さんのお墓をお参りしてきました。道路より低いところにお墓がありますがやはりとても暑く、墓前で手を合わせると1999年9月30日を思い出しました。

バックナンバーは <http://www.jcp-net.jp/ibahoku/toukai/oona/> でお読みいただけます